

三陸は 新たな夢を ともに紡ぎ始めた。



(社)RCF復興支援チーム
代表

藤沢 烈
(ふじさわ れつ)



NPO法人絆プロジェクト三陸
理事長

佐藤 健
(さとう けん)



NPO法人桜ライン311
代表理事

岡本 翔馬
(おかもと しょうま)



岩手県立大船渡東高等学校
1年

橋本 陸
(はしもとりく)



うみぐらし大使館 SUN RING
代表

下村 達志
(しもむら たつし)



株式会社 街の駅・久慈
職員

柏木 美子
(かしわぎ よしこ)



岩手大学農学部
教授

広田 純一
(ひろた じゅんいち)

～新たなふるさとづくりに向けて～

いわて三陸復興フォーラム

2013.11.2(土) 13:00-16:45(予定) 大船渡市民文化会館 リアスホール

基調講演「復興の新たなステージにパワー全開で取り組もう！」



(社)RCF復興支援チーム代表
元復興庁政策調査官

藤沢 烈 (ふじさわ れつ)

1975年生まれ。一橋大学卒業後、バー経営、マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て独立。経営コンサルティングを本業とし、数多くのベンチャー企業やNPOのスタートアップ支援・経営革新に取り組んだ。東日本大震災を機に復興の活動へ注力。自らの会社「RCF」にて復興事業立案、調整を行う復興コーディネーター集団である「復興支援チーム」を結成し、「仮設住宅」「教育」「雇用」「水産業」などのニーズに関する調査をもとに、行政や地元団体、支援企業と連携した支援策の実施を推進する。また、平成25年7月まで復興庁政策調査官を務め、NPO・企業・行政連携の推進を行った。

パネルディスカッション「参画とつながりで本格復興を！」



コーディネーター

岩手大学農学部教授 **広田 純一** (ひろた じゅんいち)

1954年東京生まれ。1978年東京大学農学部卒業、1983年に博士課程修了(農学博士)。東京大学助手を経て、1985年岩手大学講師。1999年に教授。現在に至る。専門は農村計画・地域計画。1990年代後半より学生とともに、県内外の地域づくり活動支援に携わり、2005年にNPO法人いわて地域づくり支援センターを立ち上げ(理事長)。東日本大震災後は、地域コミュニティの再建支援を中心に、国・岩手県・被災市町村の復興構想・復興計画の策定に関わる。内閣府東日本大震災復興構想会議検討部会委員、岩手県東日本大震災津波復興委員会総合企画専門委員会委員、環境省自然再生専門家会議委員、環境省中央環境審議会自然公園小委員会委員ほか。著書に「農村計画学」(農業土木学会、1992・2003)、生物多様性保全と環境政策(北大出版会 2005) 水田生態工学入門(2007)、農政ジャーナリストの会編「大震災・地域・農林水産業をどう立て直す(日本農業の動き176)」(農林統計協会 2012)など

パネラー紹介

多くの人が参加し、そして繋がっていくことで、三陸の復興は加速していきます。パネラーたちの言葉に耳を傾けてください。



NPO法人桜ライン311

代表理事 **岡本 翔馬** (おかもと しょうま)

1983年生まれ。陸前高田市出身。2011年5月末に東京の勤務先を退職。同年6月、一般社団法人SAVE TAKATA陸前高田オフィスを立ち上げ代表に就任。同年10月には「桜ライン311」を立ち上げ副代表として参加(2013年7月には代表理事に就任)。2013年4月からは「陸前高田まちづくりプラットフォーム」の委員長としても活動している。



うみぐらし大使館 SUN RING

代表 **下村 達志** (しもむら たつし)

釜石市唐丹町出身。早稲田大学卒業後都内の企業に就職。震災後、東京での復興ボランティア活動に参加。2013年1月にUターンし、釜石市でツアーコーディネーター等を行う「うみぐらし大使館 SUN RING」を立ち上げた。漁船での遊覧や釣り、清掃ボランティア活動など参加者の要望に応じたプログラムを提供。地元目線では気づかない釜石の魅力を引き出し、漁村振興とまちの活性化を目指している。



NPO法人絆プロジェクト三陸

理事長 **佐藤 健** (さとう けん)

大船渡市出身
NPO法人絆プロジェクト三陸 理事長
さとう整体療術院 院長
明治大学社会イノベーション・デザイン研究所 客員研究員
子ども・高齢者支援、事業者のインキュベーション 支援など幅広く活動。



岩手県立大船渡東高等学校

1年 **橋本 陸** (はしもと りく)

大船渡市で暮らす高校生。三陸鉄道を愛し、中学生の頃から地元・盛駅の掃除や案内を手伝い始める。震災後の2011年10月、NPO法人「夢ネット大船渡」が運営する「三陸鉄道盛駅ふれあい待合室」開業にともない手伝いを再開。2012年秋には「声と言葉の格闘技」と呼ばれる大会「詩のボクシング」に出場。県大会ではJR大船渡線、全国大会では三陸鉄道への思いをぶつけた。



株式会社 街の駅・久慈

職員 **栢木 美子** (かしわぎ よしこ)

1976年生まれ。久慈市出身。八戸工業高等専門学校を卒業後、通信機器会社に勤務。退職後、北海道で演技とアートマネジメントを学ぶ。30歳を目前に帰郷を決意。2007年より「株式会社街の駅・久慈」に入社し、「道の駅くじ やませ土風館[土の館]」の管理運営を担当。震災後は、岩手県沿岸地域初の大規模街コン「リアコン7」の企画・運営など、明るい話題の情報発信に努めている。

全体スケジュール

- ★13:00 オープニングアトラクション(15分)
- ★13:15 開会
- ★13:20 基調講演(50分)
- ★14:10 (休憩10分)
- ★14:20 パネルディスカッション(90分)
- ★15:50 (休憩10分)
- ★16:00 新しい未来・夢づくりライブ(40分)
- ★16:45 閉会

オープニングアトラクション



創作エイサー団体 那覇大鼓

2011年8月に岩手県で慰問公演を実施し、必ずまた来てほしいとの声に応え、今回は岩手県沿岸部での慰問公演を行う。同団体の趣旨に賛同した沖縄の地元アーティスト池田卓さんが演奏する三線に合わせた勇壮な創作エイサーや、地域に根差した伝統的な踊りを披露します。

エンディングライブ

新しい未来・夢づくりライブ



松本 哲也 (まつもと てつや)

中学卒業後、ミュージシャンになる夢を持って単身上京。震災1ヵ月後の4月11日、音楽を要にした、移動式エンターテインメント一体型炊き出しキャラバン「いわて三陸復興食堂」を仲間達と立ち上げ、被災地での支援活動を開始。



濱守 栄子 (はまもり えいこ)

大船渡市出身のシンガーソングライター。さんりく・大船渡ふるさと大使。希望郷いわて文化大使。東日本大震災チャリティプロジェクトCD「国道45号線」を発売。売上の半額を義捐金として、陸前高田市と大船渡市に寄付している。

開催場所マップ



定員 400名 締め切り 10月28日(月)【定員になり次第締め切り】
メールまたはFAXで受付の上、聴講券をお送りします。応募多数の場合は先着順となります。

問い合わせ 開催事務局:岩手日報社広告局広告部「いわて三陸復興フォーラム係」 TEL019-653-4111へ
(9時30分～17時、土・日・祝日を除く)

申し込み FAXの場合は、参加申し込み書に記入の上、FAX019-626-1881 開催事務局:岩手日報社広告局広告部「いわて三陸復興フォーラム係」へ。
メールの場合は、名前、郵便番号、住所、電話番号及び「リアスホール参加」と明記の上、fukkou@iwate-np.co.jpへ。

※応募の個人情報は、岩手県及び岩手日報社が聴講券の発送、フォーラム受付のために使用します。

〈いわて三陸復興フォーラム 参加申し込み書〉

(所属)

(氏名)

(職名)

fukkou@iwate-np.co.jp

(電話番号)

(郵便番号)

(住所)